

里村紹巴歌碑の寄贈について

大浦歴史研究会より、里村紹巴の歌碑の寄贈を受け、舞鶴親海公園運動広場内に設置いたしましたので、お知らせします。

《寄贈式》

- 1 経 過 細川幽齋とも親交のあった戦国時代の連歌師・里村紹巴（さとむら じょうは）が、永禄12年（1569）に市内の千歳において連歌を詠んだことを記念し、千歳から望む舞鶴湾の景色が、当時随一の文化人であった紹巴をも魅了したことを、地元大浦地区住民及び市民に広く知っていただくことを目的として、歌と解説を刻んだ石碑を制作し、市に寄贈したいという申し出を受け、このたび歌碑が完成し、市に寄贈いただいたため、市長より感謝状を贈呈いたします。
- 2 日 時 令和3年2月8日（月） 10時から
- 3 場 所 舞鶴市役所 本館3階 301会議室
- 4 出席者 〈寄贈団体〉大浦歴史研究会
竹内 謙一（たけうち けんいち）氏
内海 善通（うつみ よしゆき）氏

〈受領者〉市長
- 5 寄贈物件 里村紹巴歌碑 1基（本体高さ140cm×幅100cm×厚さ50cm）
設置場所：舞鶴市字千歳地内 舞鶴親海公園運動広場

◆大浦歴史研究会◆

大浦歴史研究会（磯谷正弘会長）は、平成7年に発足し、これまで大浦地区の歴史についての勉強会やフィールドワーク等の活動を行ってきましたが、会員の高齢化等を理由に本年1月に解散されました。これまでの研究会の活動の記念として、歌碑の設置を計画され、昨年9月に寄贈の申し出をいただきました。

◆里村紹巴◆

戦国時代の連歌会の第一人者として、細川幽齋・明智光秀・織田信長・豊臣秀吉らと親交がありました。永禄12年（1569）6月、舞鶴湾内の蛇島城に宿泊した後、船で天橋立見物に向かう途中、千歳に立ち寄り、発句（連歌の最初の句）を所望されたため「夏の日や ふへき千とせの 浦の松」と詠みました。

※「ふへき（不易）」「千とせ（千年）」＝「千年変わらない様子」と地名の「千歳」を掛けています。

【お問い合わせ先】

文化振興課：☎0773-66-1019 FAX0773-62-9891 担当：左織・神村（内線1233）
E-mail：bunka@city.maizuru.kyoto.lg.jp